

日常の確認

緊急時にHELPNETサービスが利用できるように、必ず日常的に下記の確認をしてください。

携帯電話の確認

本機に接続されていること

電池残量が十分にあること

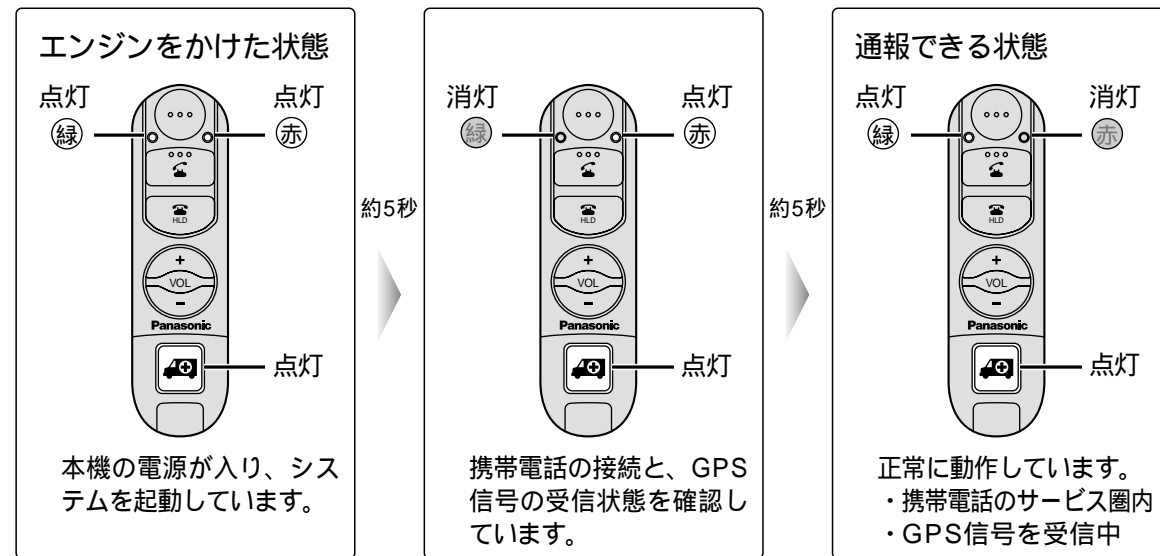
(本機で携帯電話の電池の充電はできません。)

下記の設定が解除されていること

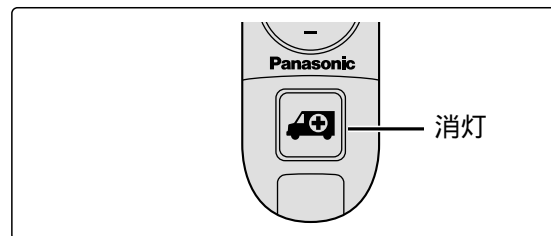
- ・ダイヤルロック
- ・ダイヤル発信禁止
- ・ドライブモード
- ・マナーモード
- ・着信拒否/許可
- ・着信転送
- ・留守番電話
- ・発信者番号非通知
- ・キャッチホン
- ・セレクションなど

本機の確認

インジケータを確認してください。(☞24ページ)



緊急通報ボタンが消灯した場合は
何らかの事情で契約が解除され、HELPNETサービスが利用できないので、通報できません。
(HELPNETが利用できない場合：☞25ページ)



ハンズフリー通話

本機が正常に動作し、通話できることを確認してください。(☞22ページ)

通報時のために、ハンズフリー通話に慣れておくことをお奨めします。

保守点検する

保守点検とは

HELPNETサービスセンターに接続し、通報できる/できないを点検します。
定期的に自動で行われる「自動保守点検」(☞下記)と、サービス開始操作時に手動で行う「手動保守点検」(☞16ページ)があります。

自動保守点検について

(株)日本緊急通報サービスが定める期間(3ヶ月に一回)ごとに、自動的に点検を実施します。
自動保守点検の操作は特に必要ありません。下記の要領で行われます。

HELPNETオペレーションセンターに自動的に接続し、
しばらくの間(約1分間)データ通信を行います。

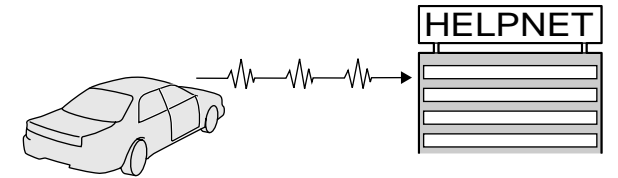
このとき、以下の点検が行われます。

- ・通信テスト
- ・システムの点検
- ・HELPNETサービス契約の確認

通話料がかかります。

自動保守点検が終了すると、自動的に回線を切ります。

電波状態により異なります。



以下の場合、自動保守点検は行われません

- 緊急通報中
 - 呼び返し待機中
 - 手動保守点検中
 - ハンズフリー通話中
- そのときは、約10分後に再び自動保守点検を行います。(最大30回)

自動保守点検に失敗したときは

「自動保守点検が完了しませんでした。手動保守点検を行ってください。」と音声案内され、LED(赤)が点滅します。

長期間保守点検が行われなかった場合、通報できなくなるおそれがありますので、必ず手動保守点検を行ってください。(☞16ページ)

